

広報 やまこし

1990
6月
第264号

発行/山古志村役場 947-02 新潟県古志郡山古志村大字竹沢乙461 ☎(0258)59-2330代 ■編集/総務課 ■印刷/大川印刷株式会社 ■6月1日発行



豊作を祈り 田植え始まる 去年よりやや早目

四年続きの少雪で、雪消えの早かった今春。農作業は特に順調に進んだようです。四月上旬からの苗代づくりが始まり、五月の連休ころから耕うん・代かきが始まり、早い農家では、連休ころから田植えが始まりました。

田植えの最盛期は、五月十三日(旧)ころで、昨年よりやや早かったようです。

天候の急変にみまわれ、一部の農家では低温のため苗に被害のた所もあったようですが、五月下旬には、田植えもすつかり終わりました。写真は五月七日、連休明けに田植え作業に余念がない、青木雄さん夫婦(池谷)。

青木さん方では、今年には稚苗約二百箱購入し、作付品種はすべてコシヒカリで、昨年より十五日程田植えが早く終わったそうです。写真でもわかるように、非常にきれいにアゼぬりがおこなわれており、おきしたらアゼぬりと耕うん機は、おじいさんの仕事とかそのおじいさんは、田植えはせがれの仕事で全部おまかせと、アゼ元で一休みしていました。

年々農業の機械化が進み、稚苗中苗での機械田植えが、ますます進み手植えの田植え風景が少なくなりつつある今日です。

豊作を祈ります。

人口の動き (2.4.30現在) ■人口 3,010人(+9) 男 1,521・女 1,489 ■世帯数 815(+15) ■4月中のうごき □出生0 □死亡6 □転入23 □転出8

山菜採りに挑戦 種芋原中学校



種芋原中学校(塩浦寅夫校長)生徒二十八名全員が五月八日午後から、「山古志ならではの」山菜採りに挑戦。学校から県道を歩くこと二十五分、現地(西山)に着するころには雨が降り初めていましたが、各グループに分かれてさっそく開始。

三時過ぎから、それぞれ袋の中になくさんの山菜を持って、濡れ姿で続々と集合、滑ってころんだのか、ズボンに土をつけている生徒がほとんど。学校に持ち帰り区分け作業後、業者に出荷されました。その代金は、生徒会費の一部にして活用されるそうです。

雨の中おつかれさまでした。



土砂災害防止月間

5月16日発送錦鯉パック



お知らせ

簡易水道整備の 測量が行われます

村では、村内全域の簡易水道整備の計画をしております。今年度は事業の認可申請をいたします。準備としては、配管にともなう測量を左記のとおり実施しますのでご協力下さい。

一、区域 村内の該当国・県・村道
二、期間 五月二十八日～八月月上旬
三、業者 日本海設計事務所
新和測量設計事務所

せいげん行為 があります

「地すべり防止区域」内では地すべりを防止するため、いろいろな工事や調査を行っております。次のような「制限行為」を行うと、施設の機能が失われ、地すべりに対して大変危険です。

このため法律によって規制され、たとえ個人の土地であっても制限を受けることとなります。

又、やむなく「制限行為」を行う場合は、許可を受けてください。この場合、一定の条件が付くこととなりますので、事前に建設課と相談して下さい。

〈制限行為の内容〉

このような事はしないでください。

- 一、地下水の排除を阻害する行為
例(1) 水抜ボーリングの排水口に栓をしたり、パイプをつないで引き回すこと。
例(2) 水抜ボーリングのパイプを引き抜いて他に転用すること。
- 二、地下水の浸透を助長する行為
例(1) 地割れなどで、地表水の浸透しやすい所に水を溜めること。
但し、水田に水を引いたり、ため池などに溜める場合は除く。
三、のり切り、または切土をする場合
例(1) のり切りで、のり長3m以上
例(2) 切土で、直高2m以上
※ 重機を入れて水田・キスの形状を変える場合、この例が多いと思われるので注意してください。
- 四、工作物の新築、または改良
例(1) ベンチフリューム300型以上の土水路工事。
例(2) 長さ3m、幅4m深さ50cm以上のため池などの新設。(6㎡以上)
- 五、その他
例(1) 深さ2m以上の掘削。
例(2) 防止施設から5m以内での掘削。
例(3) 重量が10t/㎡以上の土石の集積や、工作物の新築。

<h3>6月の 納.税.保険料</h3> <p>★国民健康保険料 ★国民年金保険料 ★村・県民税 ★保育料(6月分)</p>	<h3>転作現地調査</h3> <p>6月25日～28日 転作の現地調査が六月二十五日から二十八日にかけて行われます。転作田には、配分された「確認旗」を長い棒につけ、わかりやすいように立てておいてください。</p>	<h3>芸能発表会</h3> <p>6月24日(日) 午後1時～ 村民会館大ホール</p>	<h3>ゲートボール 選手権大会</h3> <p>兼竹沢郵便局長杯 6月8日(金) 山古志中グランド</p>
--	---	---	--

平成2年度 総合検診日程

月日	会場	受 付	
		午前 9:00~11:30	午後 1:00~2:30
6月26日(火)	種芋原小学校	下村、中下、中外寺野	大谷地
6月27日(水)	種芋原小学校	上村甲、上村乙	
6月28日(木)	虫亀小学校	1部~5部	6部~8部
6月29日(金)	東竹沢小学校	梶金、木籠、小松倉	
7月2日(月)	村民会館	竹沢(二丁野、下村)桂谷	間内平、山中、菖蒲、油夫
7月3日(火)	池谷小学校	池谷、大久保、楢木	

五月の花嫁



▲ 五十嵐正栄さん(池谷)と結婚された千栄子さん

▼ 川上和夫さん(竹沢)と結婚された聖子さん



成人病をシャットアウト

40歳からの成人病対策

40歳といえば「働き盛り」。人生の充実期ともいえるでしょう。

しかし、一方では40歳をすぎた頃から、視力や歯などの衰えが目立ち始めるほか、心臓病やがんなどの成人病が増してくるのは確かです。

●成人病に悩まれやすい人●

健康診断を受けていない人

血圧の高い人

家族にがんや脳卒中、心筋梗塞、糖尿病などがある人

睡眠不足が続いている人

ストレスに強い人

タバコを吸いすぎる人

太りすぎの人

運動不足の人

健康に無関心で充実した健康感がない人

野菜嫌いの人

生活が不規則な人



何事に対しても積極性に欠ける人

健康づくりは自己管理から

六月末から、村内各地で総合検診が行われます。必ず受診しましょう。健康診査の目的は、病気の早期発見だけでなく、からだの機能の

変化を知り、健康維持に役立てるといってもいいかもしれません。年一回は、健康状態を占検しておきましょう。

番台さん

声高らかに

越冬当歳鯉の競売会

四月末から五月上旬にかけて、越冬施設やイケスで越冬されていた錦鯉が、飼育用の大きな池に放されました。狭い所から広い池に放された錦鯉たちも、新緑の草木が水面に映える中を気持ちよさそうに泳ぐ姿は見ているだけで気分爽快です。

四月二十六日(木)に漁協主催で、当歳魚の品評競売会が開催されました。これは毎年恒例のもので、漁協の種苗センターで冬期間越冬した当歳鯉の中から優秀なものを選び、立鯉としての品評会を行い、その後競売をするものです。

今年の出品数は昨年をやや下回る二百一点。各品種がまんべんなく出品されました。中でも昭和三色と交り物の出品が多かったようです。

午前中に受け付けと品評会が行われ、午後から関係者約八十人が集まり競売会が行われました。組合長の、「皆様のおかげで競売会も今年で七回目となりました。鯉も小雪暖冬でたいへん元気です。きばってご購入お願いします」との



三色、光り物の部
平沢 弘志(虫亀)



紅白の部
田中 重吉(虫亀)



五十嵐 勇(虫亀)

◎総合優勝

あいさつで始まった競売は、一舟平均一万五千円、最高値の準優勝の銀鱗昭和七万一千円には、関係者一同おもしろ「オオ」との驚きの声。
品評会の成績は次のとおりです。(敬称略)



変り物の部
渡辺 一治(竹沢)



金銀鱗の部
斉藤 広栄(虫亀)



昭和の部
星野由太郎(山中)



◎総合優勝の紅白



◀ 競売会の風景

雪を利用して野菜保存にチャレンジ

去る四月六日、種芋原特産品加工所の脇に、特産品生産組合員のみなさんが、普及所の指導のもとに、大根・キャベツ・レタス・トマト等野菜類や、フナ・サクラの枝(芽)など、雪中貯蔵が行われました。このころみは、缶詰加工等に必要な野菜類を年間通して保存し利用したいと言う考えから、地域の利点雪を生かして行ったものです。
施設の内容は、高さ1.8m、幅1.8

緑の羽根募金

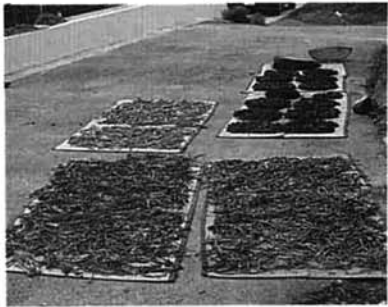
ご協力ありがとうございました

四月一ヶ月間行われた「緑の羽根募金」は、村内全戸と小・中・高校及び大久保土建にご協力をお願いしましたところ、一三六、二八七円の成果となりました。ご協力ありがとうございました。



m、奥行き1.5mの箱を作り、野菜等が入る)外枠(高さ3.0m、幅5.8m、奥行4.5m)を松板・断熱材で囲み、その間に雪を詰めて、上から特殊なシートで包囲する仕組み。今回は試験的に行われたのですが、この結果をみて来春は、更に大きいものを作り、野菜等の付加価値向上を図る予定だそうです。
◀ 五月十日の現況

やまこし春の風物詩



▲ゼンマイほし



▲山菜採り



▲堆肥を入れました



▲アゼぬり



▲いぶり



▲耕うん、代かき



▲田植え



▲苗とり



春に山火事 3件発生

小千谷地域消防本部

小千谷地域防火管理協会

地域ぐるみの保健活動推進 組織リーダー研修会に参加

大久保区長 五十嵐要吉



地域ぐるみの保健活動推進のため、地区組織リーダーの研修会が新潟県・新潟県成人病予防協会・日本対がん協会新潟支部の三団体の主催で、本年も二月二十七日～二十八日の二日間、新潟市、ホテル新潟を会場に行われました。対象者は一市町村二名以内で、山古志村からは虫亀区長の長島源佐さんと私が参加しました。

第一日目の研修内容は、基調講演「地域ぐるみの保健活動」。講師は新潟県医師会副会長の馬場賢一先生。講演内容は、健康づくりの組織について、健康の基本的理念・市町村における健康づくりの阻害要因・指導する側のあるべき姿など、堅いお話しでありましたが、私は日頃から保健活動の基盤は、行政・住民・医療の合意形の協力によって始まると思っておりましたので、非常に参考になりました。

第二日目の研修内容は、基調講演「地域ぐるみの保健活動」。講師は新潟県医師会副会長の馬場賢一先生。講演内容は、健康づくりの組織について、健康の基本的理念・市町村における健康づくりの阻害要因・指導する側のあるべき姿など、堅いお話しでありましたが、私は日頃から保健活動の基盤は、行政・住民・医療の合意形の協力によって始まると思っておりましたので、非常に参考になりました。

第六分科会の私は、山村における保健活動の実態などについて、発言をしました。

第二日目は、全体会議の中で各分科会の討議内容の発表がありました。同一テーマのため類似点が多く代わり映えないものでありましたが、全体を通じ感じましたことは、「山古志村のきめ細かな保健活動」は、他の市町村に勝るとも劣らないことであり、高く評価されるものと思います。

全体会議終了後、特別講演があり、演題は「乳がんの話」。講師は

講演に引き続き分科会の、テーマは「地域ぐるみの保健活動」受診率を高めるために」でありました。

百五十一名の出席者が六分科会にわかれ熱心な討議を重ねられ、各人からそれぞれ日頃の実践活動について発言が行われました。

第五分科会の長島さんは、村の受診率と健康相談等の会合後に、受診の重要性を強調したり、公民館の社会教育講座に出来るだけ参加して、一人でも多くの地域の人達にわかつてもらうようにと、発表されました。

新潟県立がんセンター外科部長の佐野宗明先生。全く未知の話でありましたので、最初は気楽に聞いておりましたが、話が核心に触れるに従い、急に山古志のことが心配になりましたので、隣席の御婦人に病気についての知識の有無をお尋ねしたら、今はこの市町村でも、保健婦さんの指導でそれなりの知識は、誰でも知っていますよと聞かされ安堵しました。

講演の中で乳がんは自分で見つけられる唯一のがんと聞きました。自己検診も大切ですが、自分勝手な判断は危険だと思います。異状があつたら、気軽に保健婦さん又は、医師に相談され、かけがえのない大切な命を、決して失うことのないよう注意をお願い致します。

今回の研修会は、参加者が主催者の意図を理解し、テーマについて今後の実践活動が期待され、まずまずの成果だと思いました。

さて、私達も二日間の研修で、学んだことを充分分じた中で、皆様にお願したいことは、健康を守る第一歩として、多数の方々から総合検診に参加して頂き、健康づくりのコツを会得され、「生活にちつとの気配りをして」健やかな日々を過ごして頂きたいことであります。

皆様益々健康で21世紀に向って

て大きくはばたくことを御祈念申し上げます。

ご寄稿ありがとうございます。

普及所から 農改コーナー

水田初期害虫の防除について

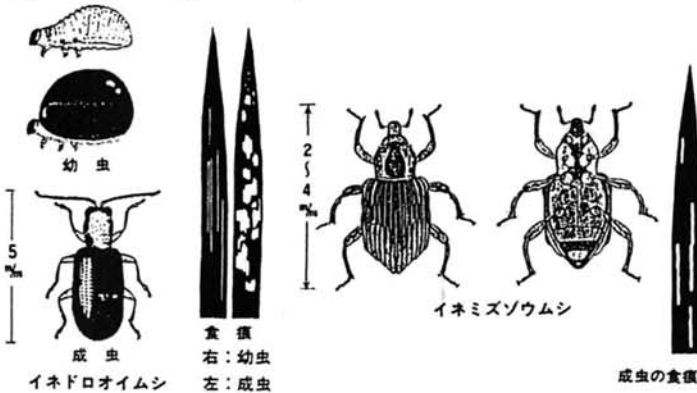
昨年のイネミズゾウムシ・ドロオイムシの多発生、少雪の影響により、発生が多くなることが予想されます。

次のことにより防除をお願いします。

〔防除のめやす〕
イネドロオイムシ
10株当たりの数
成虫 (6月上旬) 3頭以上
卵 (6月中旬) 30卵塊以上

成虫 (6月上旬)	3頭以上
卵 (6月中旬)	30卵塊以上

イネミズゾウムシ
畦畔から1mの位置にあるイネで50株当たり15頭以上の場合
〔防除方法〕
○オンコル、アドバンテージ粒剤を箱施用した場合
原則として防除は、必要ありません。



用した場合
イネミズゾウムシの数が防除のめやすを越えた場合は、水面施用剤を施用する。

○箱施用剤をしなかった場合
イネミズゾウムシの数が防除のめやすを越えた場合は、水面施用剤を施用する。その後、イネドロオイムシの加害がみられたらPMP粉剤を散布する。

なお、水面施用剤を施用し、イネミズゾウムシの数が防除のめやすを越えた場合は、もう一回防除を実施する。

イネミズゾウムシ、イネドロオイムシの形態と食痕

農業委員 選挙

山古志村農業委員会委員の任期が七月十九日で満了となります。選挙執行予定及び立候補できる者は、次のとおりです。

- 選挙執行予定
■ 選挙期日 七月上旬
■ 委員定数 十名
- 立候補できる者
① 山古志村農業委員会の区域

- ② 内に住所を有する者
 - ③ 年齢が満二十歳以上の者
 - ④ 十アール以上の農地につき耕作の業務を営む者及びその同居の親族または配偶者等が必要条件を満たす者
 - ⑤ 農業生産法人の組合員等が必要条件を満たす者
- 立候補に必要な届出書類は、選挙管理委員会にあります。(六月二十日以降、取りにきて下さい) 立候補についてくわしいことは、選挙管理委員会へ相談して下さい。

税に関する高校生の作文 中学生の標語募集

税は、私たちが共同社会の一員として暮らしていくための、いわば会費であると言えましょう。

このような、税の仕組みや使いみちなどを、中学・高校生の皆さんにも正しく理解していただくたいと思ひます。

そのため、国税局・税務署では今年も、「税に関する高校生の作文」・「税に関する中学生の標語」

を募集します。

テーマは、税に関するものなら何でも結構です。

受付は税務署で行っていますので、皆さんの応募をお待ちしております。

募集要領

- 募集数 一人一編 (作文は三千字以内)
- 住所、氏名、学校名、学年、学校の所在地を書いてください。

締切日 九月五日(水)

までに最寄りの税務署へお送りください。

○表彰 優秀作品には、賞状と記念品を贈呈します。



〒九四〇
長岡市南町三一九一
長岡 税務署

ヘルシークッキング

大切な栄養素をとるための

材料(4人分)
 ほうれん草……………200g
 ◎みりん・しょう油…各小さじ½
 大豆(ゆでたもの)……………100g
 生しいたけ……………4枚
 酒……………小さじ2
 ◎白ごま……………大さじ3
 ◎しょうゆ……………小さじ1強
 ◎だし……………小さじ½
 ◎だし……………大さじ3

作り方
 ①ほうれん草は根元に切り込みを入れ、よく洗い、水けを充分にきる。たっぷりの塩湯で柔らかくゆでて、すぐに水に取り、1分ぐらいづけ、軽く水けを絞る。◎であえ、絞って4センチ幅に切る。
 ②生しいたけは石づきをとり、あみで焼き、細切りにして、酒をふる。
 ③いって、すり鉢ですった白ごまを◎に混ぜる。
 ④①、②とゆでた大豆を◎であえる。

ビタミンいろいろ

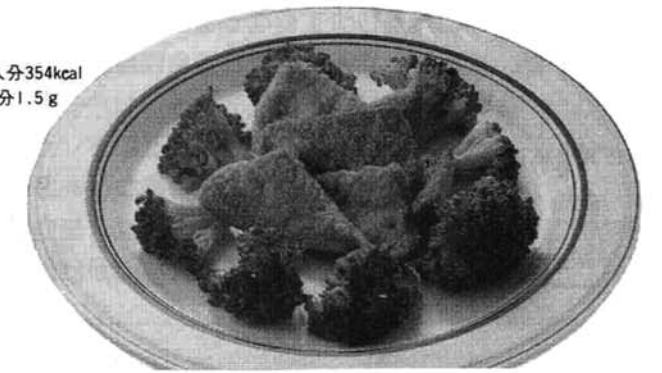
ほうれん草(ビタミンA・C)と大豆(ビタミンE)のごまあえ



●1人分97kcal
●塩分1.0g

鉄分モリモリ

レバーの変わりソテー



●1人分354kcal
●塩分1.5g

材料(4人分)
 豚レバー(固まり)……………400g
 ◎塩……………小さじ½
 ◎①に◎を掛けて20分おく。
 ◎①に◎を掛けて20分おく。
 ◎フライパンに油を熱し、ベーコンをよく焼いてとり出し、次に汁を軽くふき、小麦粉をまぶしたレバーをその油で、よく火が通るまで炒める。
 ◎小鍋にわけてゆでたブロッコリーは、1/4で炒め、塩、こしょうする。
 ◎◎をあわせ混ぜ、ピーナッツソースを作る。
 ◎◎に◎、④を盛り、◎をかける。

作り方
 ①レバーは固まりのまま30分間水につけて血抜きし、厚さ5ミリのそぎ切りにする。
 ◎①に◎を掛けて20分おく。
 ◎フライパンに油を熱し、ベーコンをよく焼いてとり出し、次に汁を軽くふき、小麦粉をまぶしたレバーをその油で、よく火が通るまで炒める。
 ◎小鍋にわけてゆでたブロッコリーは、1/4で炒め、塩、こしょうする。
 ◎◎をあわせ混ぜ、ピーナッツソースを作る。
 ◎◎に◎、④を盛り、◎をかける。

献血にご協力ありがとうございました



4月25日の献血で、次の101人からご協力いただきました。(敬称略)
○印は400cc採血者

- 種芋原**
 草間頼雄 坂牧イミ ○川上清吉
 坂牧宇一郎 長谷川美恵子 榊沢恵子
 須佐タツ子 草間綾子 ○坂牧忠雄
 ○米岡祐三 長谷部奈美 坂牧久美子
 佐藤 誠 榊沢 孝 今井雅広
 坂牧あき子 湯本久美子 川上理恵子
 小川靖子 小川和美 小川洋子
 小川紀幸 佐藤勝義 坂牧和人
 小川 仁 榊沢美知夫 金内英樹
 坂牧満晴 海野見和子 榊沢勝男
 ○佐藤幸夫 小川藤雄

- 虫 亀**
 ○酒井省吾 平沢 東 若槻 敬
 ○佐藤丈平 長島世津子 峰村和美
 石原秀明

- 竹 沢**
 関 稔 内藤規子 ○関 幸雄
 高橋純治 ○長島栄一 ○高野勝治
 佐藤誠一 青木正子 ○星野 力
 高橋武俊 ○小林修治 星野 信
 星野フジエ 齊藤 隆 ○小川勝行
 小池順子 ○川上敏郎 星野 透
 星野茂夫 高野福康 星野良二
 毛利山茂樹 星野伸次

- 南 平**
 ○齊藤末松 ○畔上多作 畔上日吉
 青木 充

- 東竹沢**
 ○五十嵐与吉 小川喜太郎 松崎六太郎
 上田治久 小川隆行 上田清作

- 村 外**
 ○影山勝弘 石原十八 五十嵐博
 菊入 淳 坂牧良一 小林梅野
 星野武男 星野一三 五十嵐誠
 丸山 寛 濁川貴幸 菊入一昭
 岩崎保宜 河野義広 川上聖哉
 野上智也 大塚正人 今泉大洋
 中沢一雄 西山秀明 石垣早織
 星野純子 土田大輔 秋山勝見
 諸橋三郎 田中光春 渡辺吉章
 穂苺博之 小川美佐子

拾った空かん 150袋

老人クラブ奉仕活動



四月二十三日、どしゃぶりの雨のなか、村内の老人クラブの人たちが、いっせいに、国道沿の空きかん拾いをしました。七十人のお年寄りがそれぞれの地区から出発し、一人一人がゴミを入れる袋を持ち、道路の両側に分かれて歩きながら、側溝や路肩などに捨てられた空きかんやビン類等のゴミを拾うのです。
誰が捨てたかわからない空きかん、雨具を着て次々と拾っておいりました。
商工会青年部設置の立札「空きかんすてるな もうれしそ。」

竹沢チーム 奮闘

五月十三日(日)、第二回スポーツフェスティバル・婦人バレーボール中越大会が、長岡市を会場に行われました。
竹沢チーム他十六チームが参加し、県大会出場をかけて、熱戦がくりひろげられました。竹沢チームは大奮闘し、いま一步のところで、県大会出場を逸しました。



バトミントンスポ少 県大会で大活躍

四月二十二日、第一回ジュニア小学生バトミントン大会が、新潟県小学生バトミントン連盟の主催で、加茂市加茂下条体育センターを会場に開かれ、県内各地から十八チーム、百八十人のチビっ子選手が参加、父母らの熱い声援を受け、羽根を追いコートの中を飛び回りました。
山古志村からは種芋原と虫亀のスポーツ少年団が出場し、八種目中四種目に優勝の大活躍でした。大会の成績は次のとおりです。

- ◎五年男子ダブルス
 優勝 田中友和 (虫亀)
 二位 平沢正行 (虫亀)
 三位 若槻正行 (虫亀)
 長島 功 (虫亀)
 ◎六年男子ダブルス
 優勝 石原 徹 (虫亀)
 二位 川上慎司 (種芋原)
 榊沢雄治 (種芋原)
 ◎五年女子ダブルス
 優勝 長島真弓 (虫亀)
 長島美和子 (虫亀)
 二位 榊沢千春 (種芋原)
 榊沢めぐみ (種芋原)
 ◎六年女子ダブルス
 優勝 松田 恵 (虫亀)
 田中良子 (虫亀)
 二位 榊沢満江 (種芋原)
 小川明子 (種芋原)



二位 松田幸子 (虫亀)
写真は虫亀チームの入賞者のみなさん。